

令和3年度予算

アナ： 「市長が語る 2021 三島」第1回となります本日は、令和3年度予算について、お話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 令和3年度の予算のうち、福祉や教育など、市役所の基本的な業務に関わる一般会計予算は361億9,000万円と伺っています。

では、予算を編成する上での基本的な方針はどういったものだったのでしょうか。

市長： まず1つ目に「ポストコロナに向け発展を続ける都市基盤と 品格あるガーデンシティのまちづくり」、

2つ目に「新しい生活様式で進化するスマートウエルネスと 一人ひとりが輝く教育・文化の推進」、

そして最後に「絆で守る安全・安心と 誰もが生き生きと暮らすコミュニティづくり」という3つの基本方針を掲げました。

アナ： この3つの基本方針にはそれぞれどのような事業が予定されているのか、主なものを教えていただきたいのですが、まず1つ目の柱「ポストコロナに向け発展を続ける都市基盤と品格あるガーデンシティのまちづくり」について、教えてくださいませんか。

市長： 第1の柱では、花飾りなどによる癒しやおもてなし空間の創出を継続していくほか、製氷工場やサプリメント工場などの操業開始の支援、三島駅南口東街区再開発の推進、変化する時代のニーズに応える中心市街地へと変革していくために「まちなかりノベーション推進計画」の策定などにより賑わいの創出に努めてまいります。

アナ： 新型コロナウイルスの影響で全国的に活気が失われている気がしますので、是非とも賑わいを取り戻して欲しいと思います。次に、2つ目の柱「新しい生活様式で進化するスマートウエルネスと一人ひとりが輝く教育・文化の推進」には、どのような事業があるのでしょうか。

市長： 第2の柱では、「第4期スマートウエルネスみしまアクションプラン」の作成など、スマートウエルネスを更に推進するほか、新型コロナウイルス対策として「地域外来・検査センター」を引き続き開設するとともに、無症状であっても検査を希望される高齢者やソーシャルワーカーなどを対象にPCR検査を実施します。

また、国が提唱するGIGAスクールの推進により児童生徒1人に1台ずつ配付した端末を効果的に活用するため、専門知識を持った支援員を配置いたします。

アナ： 3つ目の柱「絆で守る安全・安心と誰もが生き生きと暮らすコミュニティづくり」では、どのような事業を盛り込まれたのでしょうか。

市長： 子育て、障がい者、高齢者への手厚い支援を継続するとともに、新たな取組として、生活困窮者への家計管理の支援を行ってまいります。

また、巨大地震や風水害などの災害に対する備えとして、消防団の消防ポンプ自動車更新や防災拠点へのポータブル蓄電池などの整備を行い、安全に暮らせるまちづくりを推進いたします。

そのほか、3つの柱に横断的に関係する事業や計画推進事業として、東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業、スマート市役所の推進、市制80周年記念事業などを実施してまいります。

アナ： 令和3年度も沢山の事業が展開されていくのですね。

ところで、お話を伺っているとポストコロナを意識した事業が多いように感じられるのですが、新型コロナウイルスへの対策はどうなっているのでしょうか。

市長： ワクチン接種事業をはじめとするコロナ対策事業は、国の動きに合わせて令和2年度で既に予算化をしてありまして、現在は、その予算を令和3年度に繰り越すことで、素早く、また、切れ目なく着実にコロナ対策事業を推進しているところでございます。

アナ： なるほど、しっかりとコロナ対策を実施しつつ、ポストコロナを意識した事業を展開していくという事ですね。

コロナ禍を乗り越え、さらに活気に満ちた魅力あふれるまちになってくれるものと期待しています。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。